

令和 8 年度 自主防災組織役員及び防災士等フォローアップ研修会

防災訓練の実施事例と 補助金の活用について

大分市総務部防災局 防災危機管理課

自主防災組織の役割

自主防災組織とは、地域住民が自主的な防災活動を行う組織です。日常的には、防災知識の普及啓発、防災訓練や地域の防災安全点検の実施、防災資機材の備蓄・点検といった活動に取り組みます。



災害時に求められること

…初期消火・住民の安否確認・避難誘導

負傷者の救出救護・災害情報の収集伝達 など

大規模な災害が起こった場合、消防などの防災関連機関の活動が制限される事態が予想されます。

そのような事態に備え、住民が連携し、協力し合って地域の被害を最小限に抑えることが、自主防災組織の役割なのです。



日常の活動内容

地域としての備え

- ・ 防災に関する研修会や講演会
- ・ 地域の災害危険個所の確認点検
- ・ 防災マップの作成
- ・ 図上訓練
- ・ 防災訓練 など

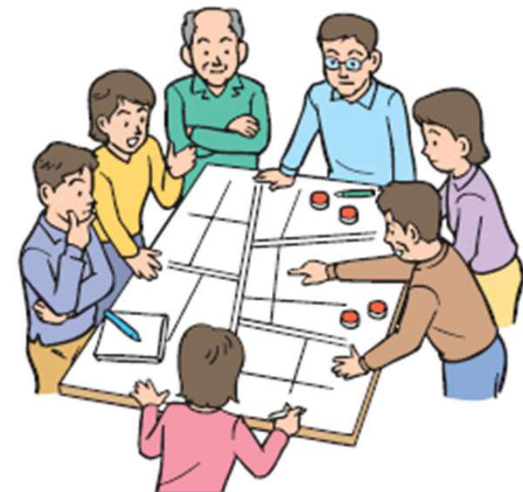


活動の計画を立てましょう

- ・ 地域で話し合い、活動の年間計画を立てましょう
- ・ 防災訓練や研修の日程を決めましょう
- ・ 地域や協力を仰ぐ関係機関と内容を調整しましょう

【校区防災訓練】

同じ校区内の防災組織と合同で訓練をすると、多くの参加者のもと、より充実した内容の訓練をすることができます。



防災訓練

個別訓練

情報収集・伝達訓練
消火訓練
救出・救護訓練
給食・給水訓練
避難所運営（体験）訓練

総合訓練

個別訓練によって習得した技術を総合して行う訓練

体験イベント型訓練

地域のイベントに防災要素を組み込んで行う訓練

図上訓練

災害に対するイメージトレーニング

防災訓練

▼防災学習車



▼地震体験車



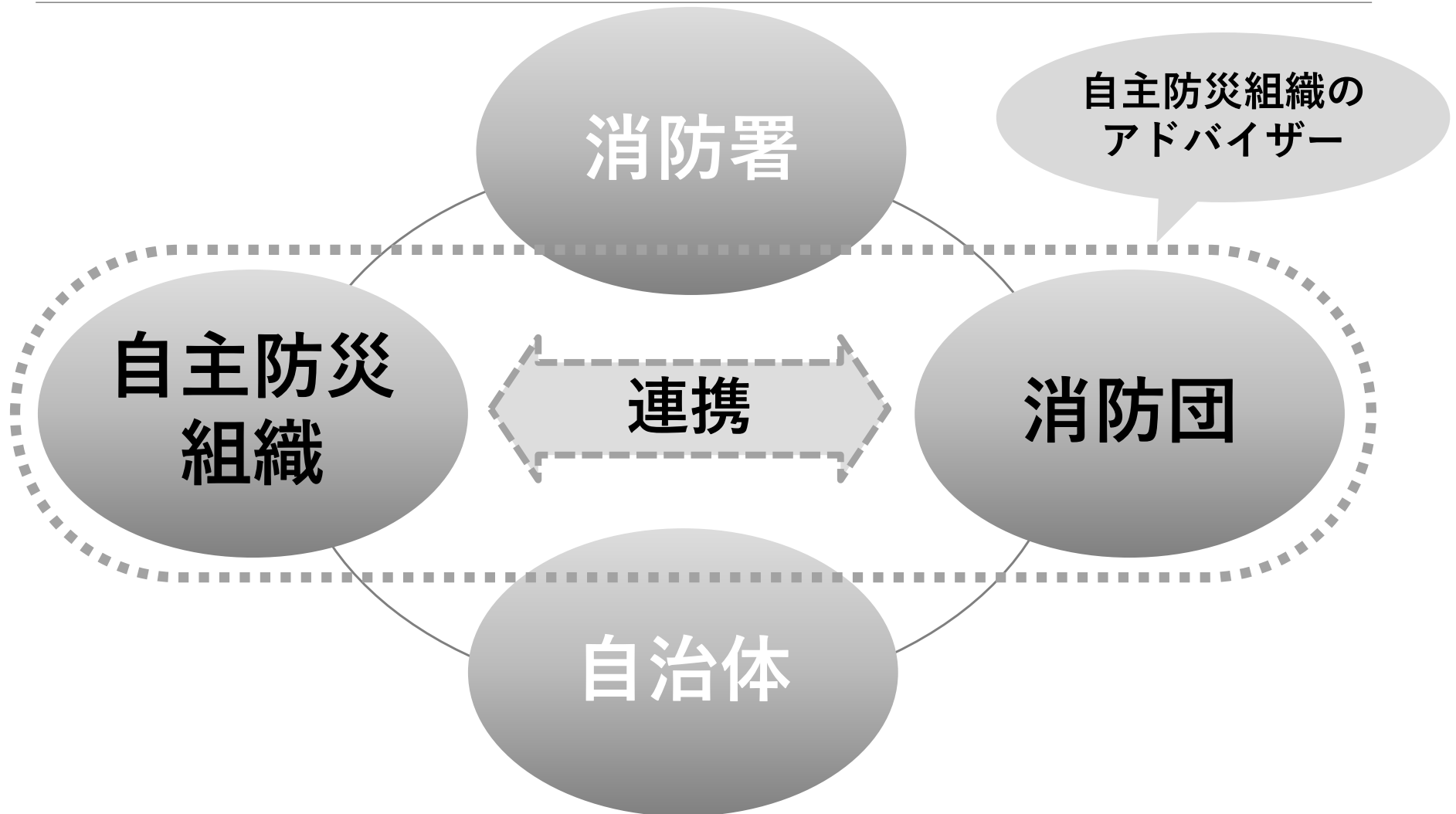
▼消火訓練



▼煙体験訓練



消防団と連携しましょう



防災訓練実施事例

A防災会・B防災会 合同防災訓練

日時	令和5年●月●●日（日） 10：00～11:30
場所	○○小学校
8:00	事前準備(会場設置)
8:30	ミーティング(防災士12名,消防団12名) 消防車街宣(避難広報)開始 2台
9:00	避難訓練受付開始 避難住民受付状況 (①A地区:40名全員 ②B地区:45名全員)
9:50	避難訓練終了
10:00	来賓者挨拶 防災訓練(2班に別れ消火訓練と地震ビデオ研修+防災グッズ体験) 訓練・研修終了し、来賓者講評 炊出し訓練「公民館等」にて炊出し配布(アンケート付)後、解散
11:30	後片付け実施(防災会役員等)
12:00	解散



安全に避難するために

室内の安全対策

窓には、透明なガラス飛散防止フィルムを貼り、カーテンをしておきましょう



低い家具類の転倒・移動防止



寝室には低い家具を

感震ブレーカーが設置されていると、一定以上の揺れを検知し、自動的にブレーカーが落ちる

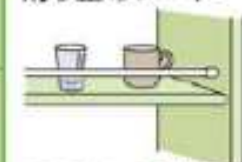
冷蔵庫は、ストッパー用具で壁に固定



高い所に物を置かない

転倒防止器具（つっぱり棒）

滑り止めシート



飛び出し防止枠

スリッパなどを用意



テレビは、できるだけ低い位置に固定



ガラス飛散防止フィルムと解放防止金具



金具で連結

ストッパー式器具

家庭内備蓄も進めましょう

災害の規模や状況によりますが、災害発生直後から救援物資が届くまでの期間（時間）は、3日程度かかります。

停電や断水が発生した状況の中、自宅等で避難生活を送ることも考え、家庭等でも、食料品や飲料水、生活必需品などを、少なくとも3日分（可能なら1週間）を目安に備蓄するよう、防災訓練等の際に、参加者への働きかけをお願いします。

家庭内備蓄の例

1. 水(3リットル×3日以上×人数分)
2. 食料 (缶詰、レトルト食品、ドライフーズなどを最低3日分)
3. 常備薬、処方薬、除菌シートなど
4. 懐中電灯・ラジオ
5. 乾電池 (各サイズ)
6. 燃料(卓上コンロ、ガスボンベ等)
7. 食品包装用ラップフィルム 等
8. 簡易トイレ など

災害時の **マンション** では…

◆エレベーターの停止



高層階ほど
物資の運搬が困難に

◆トイレの問題



配管の破損により
使用できなくなる

自主防災組織活動事業費補助金とは

自主防災組織が実施する訓練や備蓄事業など、
防災活動にかかる経費に補助金を交付する制度



訓練実施や物品等の購入前に申請が必要！
訓練実施後や物品購入後に申請された場合は
補助金を交付できない場合があります。



補助金の申請は年に1回のみ。
複数回の申請はできません。



補助額と交付要件

補助額

補助対象経費の**2分の1**以内の額

(千円未満切捨て)

上限25万円

(自治会が連合して組織した自主防災組織は
25万円に当該自治会の合計を乗じて得た額)

交付要件

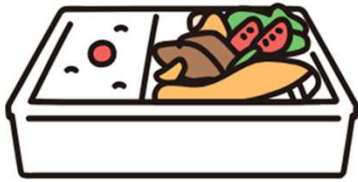
①防災訓練を実施すること。

(ただし、雨天等の理由により中止になった場合は
その限りではない。)

②備蓄資機材は、自主防災組織が管理すること。

③備蓄資機材は、自主防災組織名を明記すること。

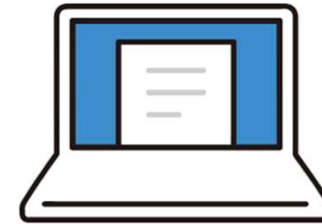
補助できない場合



(例：既製のお弁当)



(例：イベントの景品)



(例：公民館や個人のPC)

- × 事業の参加者等に配布する既製の食料品
(防災訓練で、炊き出し用の食材や非常食料を調理し参加者にふるまう場合は補助対象)
- × 事業・イベントの商品や景品
- × 公民館の設備 (AED・防災倉庫・テレビを除く)
- × 特定個人の家を整備する物
- × 市の他の補助金の支給を受けた物



二重補助は禁止されています。
後で判明した場合は、返還請求させていただきます。

お願い

補助金の予算には限りがあるため、例年11月頃には予算枠の上限に達しています。

今年度補助金の活用をお考えの際は、早めの申請・相談をお願いします。

なお、予算額が少なくなってきましたら、大分市のHPでも予算残額をお知らせしますので、随時ご確認ください。

校区防災訓練を支援します

同じ校区内の防災組織と合同で訓練をすると、多くの参加者のもと、より充実した内容の訓練をすることができます。

防災危機管理課では、校区防災訓練の計画立案の助言や費用面の支援を行っています。



より充実した活動を

訓練のすすめ方 補助金の活用 など
お困りのことがございましたら、
防災危機管理課 までお問い合わせください

- ・ 訓練に関すること

防災対策担当班 ☎529-7262

- ・ 補助金制度・申請

管理企画担当班 ☎537-5664

